

# 軽井沢六本辻ラウンドアバウト

0200Nagano\_A4C merger  
papersize 210mmx297mm



# 軽井沢町の紹介

G7 Transport Ministers' Meeting in Karuizawa, Nagano.

# G7

## 長野県・軽井沢交通大臣会合

2016年9月24・25日



G7交通大臣会合の開催は、軽井沢が新たなステージに進むための重要なステップになります。

軽井沢町は、長野県の東端、群馬県境に位置し、面積156.03平方キロメートル、標高1,000メートル前後の高原の町です。

当町は、1886年に、カナダ生まれの英国聖公会宣教師アレキサンダー・クロフト・ショーが、すばらしい自然に感動して、「森の中の屋根のない病院」と軽井沢を称え、知人の宣教師たちに「絶好の避暑地」として勧めて以来、幾多の試練を乗り越え国際的な保健休養地として発展し、現在では、国内外から年間約830万人の方をお迎えする日本を代表する国際リゾート地であります。

近年は、高速交通機関が整備され、首都圏からは車で約1時間40分、新幹線では約70分で結ばれ、信州への玄関口としての役割を担っており、今では、東京近郊までが通勤圏となっています。

さらに、2015年3月には北陸新幹線が金沢まで延伸し、軽井沢～金沢間が直通にて2時間で結ばれ、北陸方面からのアクセスも良くなりました。

また、2016年9月24・25日には「G7交通大臣会合」の開催が決定しました。古くから財界人の社交場として発展した軽井沢ですが、今後も「リゾート会議都市」としての発展が期待されます。

# 1. 導入以前の状況

社会実験前の交差点形状 6枝の無信号交差点



## 2. 導入から継続運用までの経緯



交差点内での交通錯綜による危険な挙動が多発



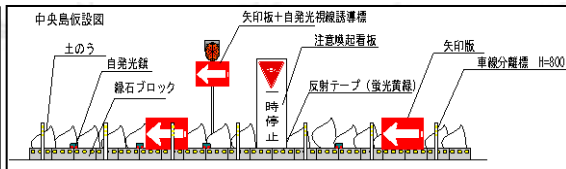
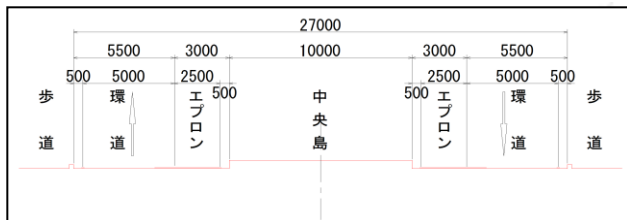
歩行者・自転車と自動車が異常接近するなどのニアミスが多発

時期	経緯	摘要
H24. 11. 1～	国土交通省の社会実験として選定	
H24. 11. 15～	社会実験 I	RBTとして運用開始
H24. 12. 21～	社会実験 II 一部改良	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環道優先の周知を目的に環道優先看板を設置</li> <li>・路面標示を明確にするため矢印標示の変更</li> <li>・環道手前一時停止を補助する路面標示の変更</li> </ul>
H25. 4. 27～	GW改良 一部改良	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エプロン部走行の低減を目的にゼブラからカラー舗装に変更</li> <li>・流入出部の対向車線へのはみ出しを抑制するため、縁石、区画線の変更</li> <li>・逆走防止対策として、分離ゼブラ帯に反射式道路鋸を設置</li> </ul>
H25. 7. 25～	夏季対策 一部改良	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型車両の走行動線を安定させるため、中央島の位置、隅角部の調整</li> <li>・自転車走行動線を安定させるため、自転車ピクトマーク等の変更</li> <li>・迷い交通をなくすため、方面案内看板の増設</li> </ul>
H26. 5. 23～	継続運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走行動線安定のため全体を現況用地内で北側に約1m移動</li> <li>・環道走行車両動線安定のため、エプロン部を段差構造</li> <li>・歩行者横断動線安定のため環道と横断歩道との間隔調整</li> <li>・乱横断防止対策</li> </ul>

# (1) 社会実験時の交差点形状

## 社会実験 I の道路構造

開始直後1ヶ月間:H24.11.15~H24.12.20



町道 1-348号線  
(雲場池方面)

B

レストラン駐車場  
P

町道 離山線  
(旧軽井沢方面)

C

- 環道外径：27m
- 環道幅員：5m
- エプロン幅員：3m
- 中央島直径：10m
- 横断歩道と環道の間隔：1.0m
- 離山線C方向の停止線位置：  
実験前の位置より2.0mセツバック
- 環道の方向指定(時計回り一方通行)：  
法定外の矢羽根(白色)を設置
- 自転車走行空間：環道の左側路肩に  
矢羽根(青色)を設置

町道 離山線  
(離山方面)

A

町道 1-13線  
(東雲方面)

D

町道 1-20線  
(碓氷軽井沢IC方面)

F

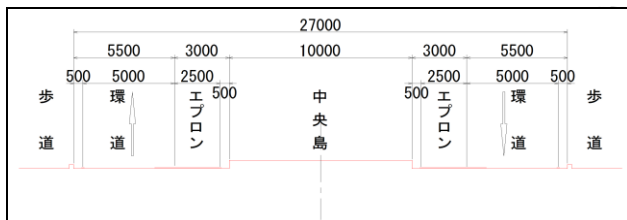
町道 1-336線  
(たまご型方面)

E

# (1) 社会実験時の交差点形状

## 社会実験Ⅱの道路構造

1ヶ月経過後以降:H24.12.21~H25.4.26



C

町道 離山線  
(旧軽井沢方面)

町道 1-348号線  
(雲場池方面)

B

レストラン駐車場

P

### 実験中Ⅰからの変更内容

- 環道の方向指定 (時計回り一方通行)
  - : 法定外の矢羽根の矢印化
- 法定外看板の設置 (中央島)
  - : 「環道優先」看板の設置
- 離山線流入部の路面標示の変更
  - : 「速度落とせ」から「この先止まれ」への路面標示への変更

D

町道 1-13線  
(東雲方面)

町道 離山線  
(離山方面)

A

町道 1-20線  
(碓氷軽井沢IC方面)

F

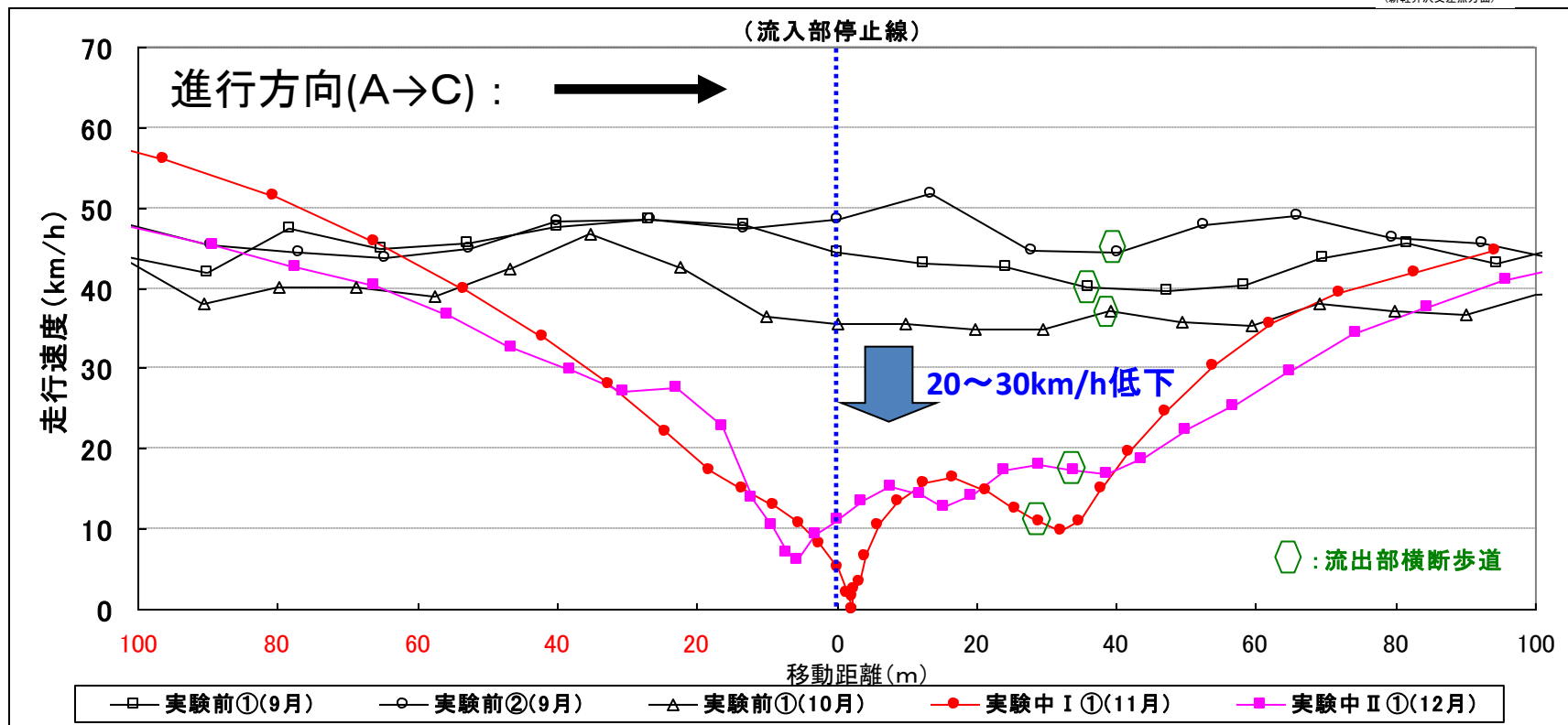
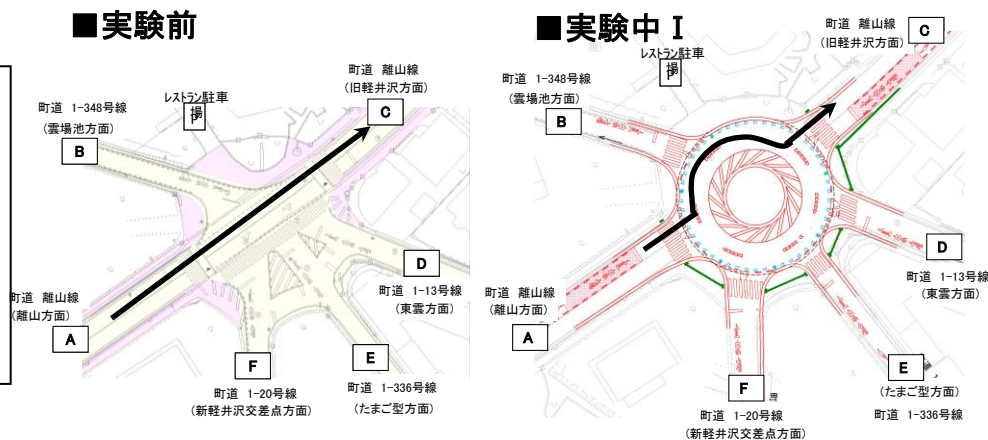
E

町道 1-336線  
(たまご型方面)

# (2) 導入後の交通状況

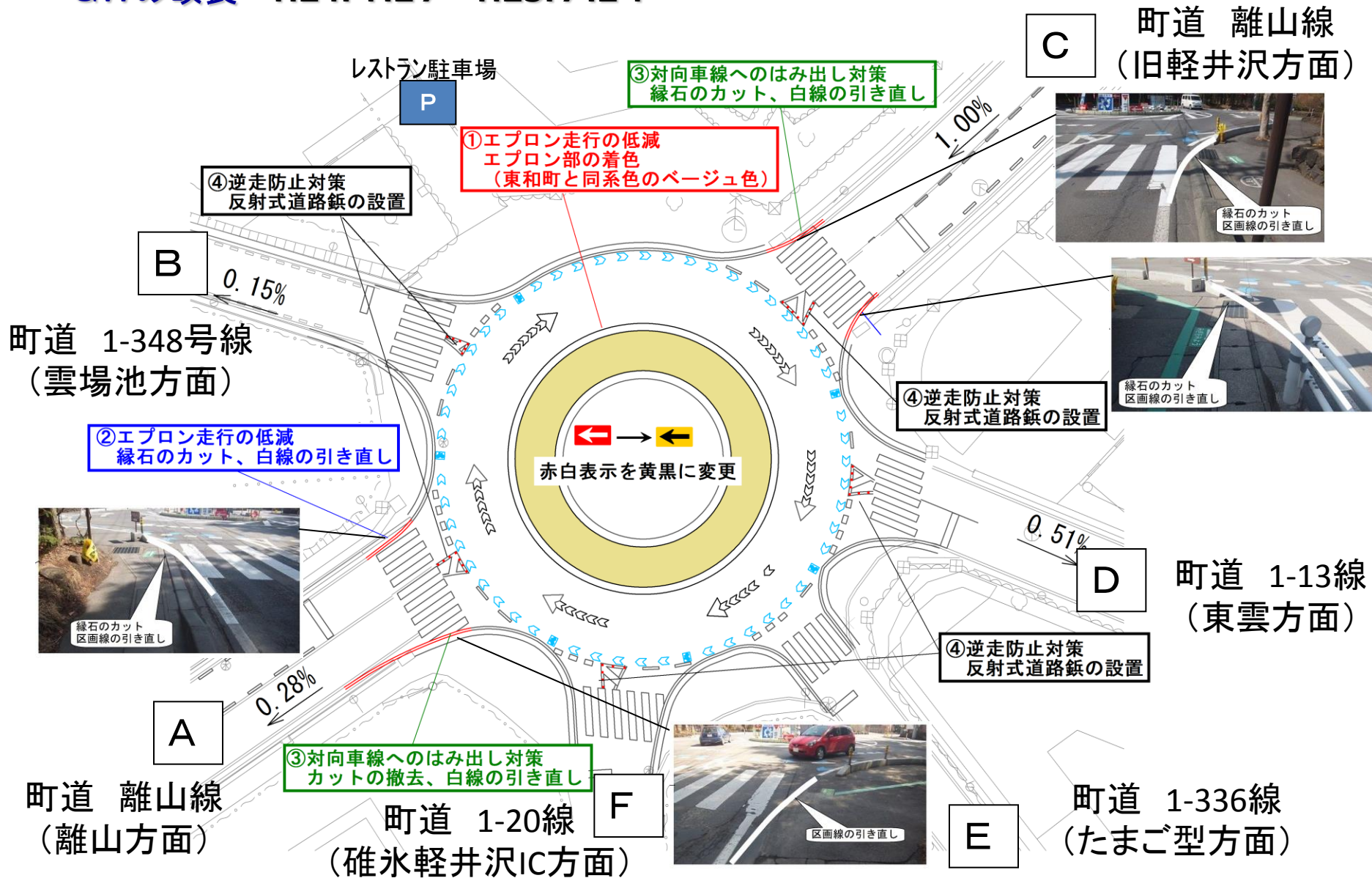
## 車両の走行速度変化

- ・実験前は流出入時、交差点内の速度に大きな変化はないが、実験中 I は交差点流入部で減速して環道へ進入する。
- ・また、実験中 I の環道走行速度は、実験前の交差点内走行速度に比べ、低速で通過する。



# (3) GW改良

GWの改良 H24.4.27~H25.7.24





# (4) 夏季対策

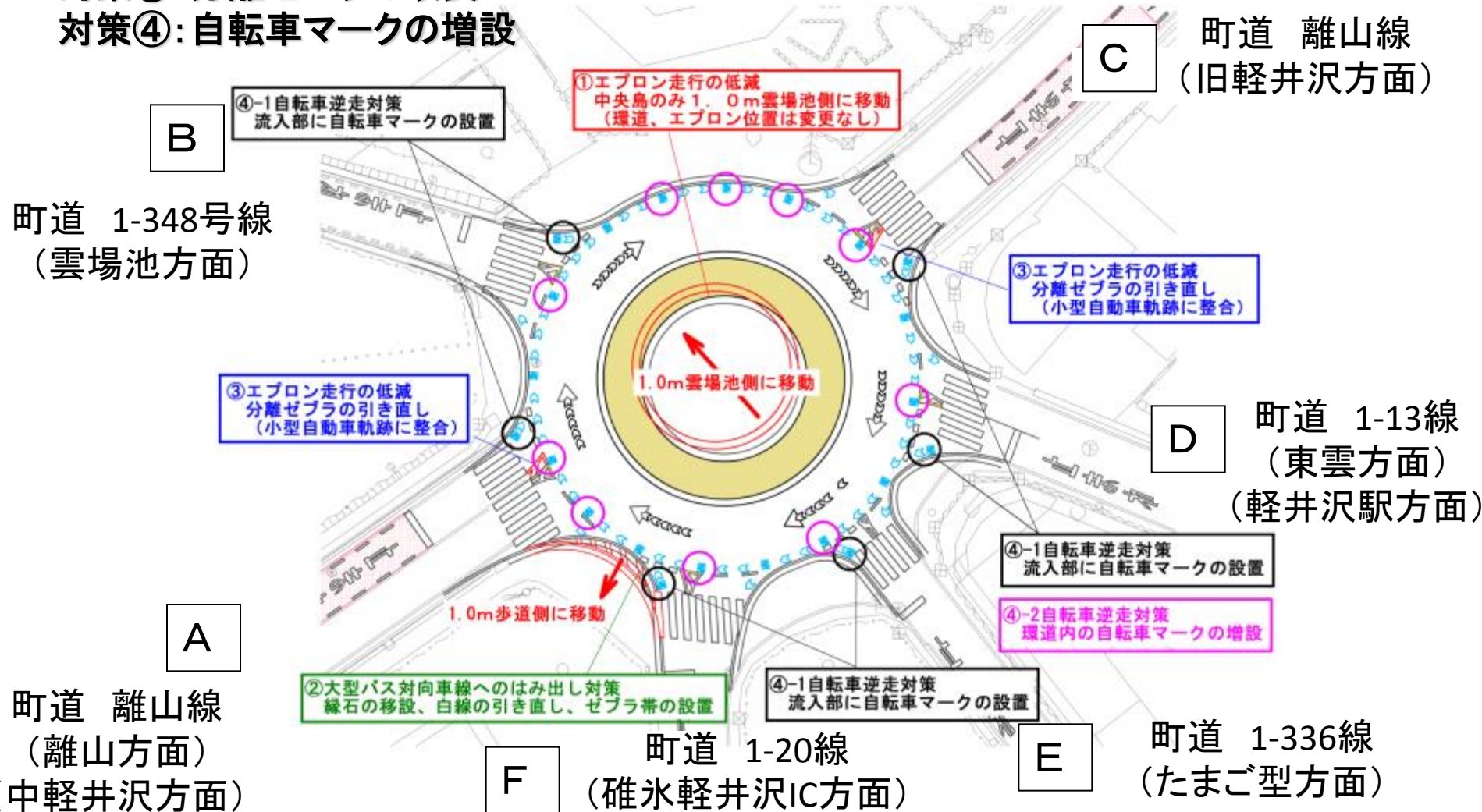
夏季の改良 H25.7.25～

対策①: 中央島の移設(雲場池側へ: 1.0m)

対策②: 「A方面-F方面」間の隅角部の改良(歩道側へセットバック)

対策③: 分離ゼブラの改良

対策④: 自転車マークの増設



# 3 地元説明等周知の有無

メディア:新聞、テレビ、ラジオ、広報誌、ホームページ

説明:関係機関(国交省、NEXCO)、町民、小学校、バス・タクシー会社  
レンタカー、レンタサイクル、まっふる、るるぶ、その他観光関連会社

## 周知一覧(抜粋)

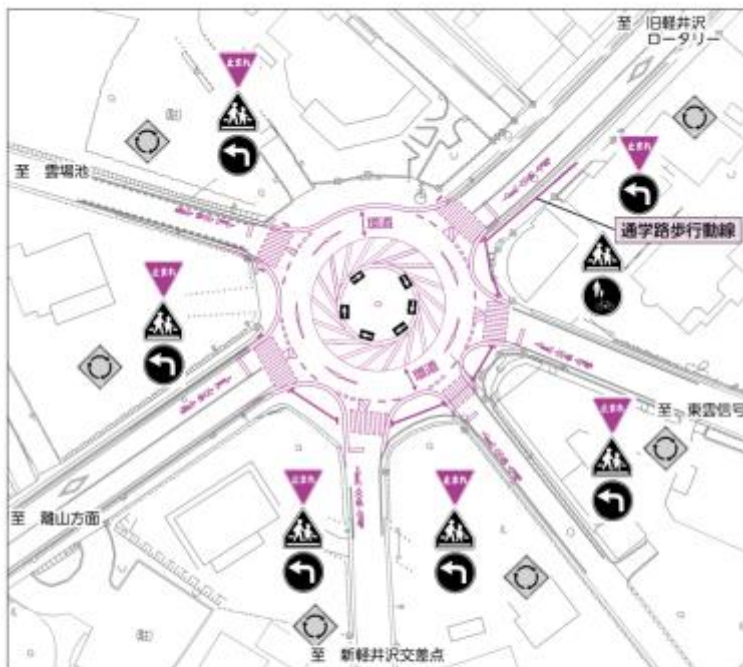
月日	周知方法	媒体等	対象	部数等	発行先等
7月13日	新聞(軽井沢ニュース)	新聞(地元)	町民他		軽井沢ニュース舎
8月24日	説明(会議)	軽井沢町の休日における 交通状況に関する連絡協議会	長野国道事務所 佐久地方事務所 佐久建設事務所 NEXCO東日本		長野国道事務所
8月31日	職員お知らせ(実験の概要)	グループウェア	職員		都市デザイン室
9月1日	広報かるいざわ9月号	広報誌	町民	発行部数9,300部 新聞折込7,100部、郵送650部 その他1,550部	軽井沢町
9月18日	説明会	説明会	職員		都市デザイン室
9月28日	お知らせ配布	区長配布	区加入世帯及び組	配布1,010世帯、回覧511組	協議会
9月29日	行政放送広報かるいざわ	ラジオ	町民		FM軽井沢
10月1日	フリーペーパー(軽井沢スタイルマガジン)	雑誌	町民他		㈱アドエイド
10月2日	お知らせ配布(杉瓜ドギーパーク)	会議	杉瓜ドギーパーク住人	22部	土屋氏(杉瓜)
10月4日	お知らせ配布(事業所等訪問)	商工会軽井沢支部	加入商店従業員	140部	協議会
		旧軽井沢銀座商店街	加入商店従業員	100部	協議会
		商工会新軽井沢支部	加入商店従業員	150部	協議会
		松葉自動車交通	タクシー運転手	40部	協議会
		第一交通	タクシー運転手	40部	協議会
		ますや交通(バス含む)	タクシー・バス運転手	50部	協議会
		軽井沢観光(バス含む)	タクシー・バス運転手	50部	協議会
		浅間観光	タクシー運転手	8部	協議会
		草軽交通	バス運転手	10部	協議会
		西武高原バス	バス運転手	10部	協議会
		千曲バス	バス運転手	10部	協議会
		駅レンタカー	観光客	50部	協議会
		日産レンタカー	観光客	50部	協議会
		ニッポンレンタカー	観光客	50部	協議会
		トヨタレンタカー	観光客	50部	協議会
		バジェットレンタカー	観光客	50部	協議会
10月10日	新聞(軽井沢新聞)	新聞(地元)	不特定		軽井沢新聞社
10月11日	新聞(信濃毎日新聞)	新聞(地方)	不特定		信濃毎日新聞社
10月24日	視察	視察	長野県・新潟県職員	9名	都市デザイン室
10月25日	職員お知らせ(道路改良工事)	グループウェア	職員		都市デザイン室
10月26日～ 11月8日	町ホームページ(実験のお知らせ)	インターネット	町民・観光客		軽井沢町

# 3 地元説明等周知の有無

## 町広報誌

### ここが変わります ~自動車編~

- すべての道路が一時的に停止し、左折し右回り(時計回り)をして、行きたい方向へ進みます。行きそびれた場合は、バックせずもう1周してください。
- 優先権は、環道内を走っている車にあります。
- 環道内は右回り(時計回り)の一方通行となりますので、逆走はできません。



### ここが変わります ~自転車編~

- 自転車に乗っている場合は、車と同じく右回り(時計回り)に環道を走行してください。ただし、自転車を降りた場合は、歩行者と同じになりますので、歩道、横断歩道を通行してください。

### ここが変わります ~歩行者編~

- すべての道路に横断歩道を設置します。
- 児童の通学路(歩道上)には、歩行動線を引きます。
- 外周部に歩道を設置し、車道と歩道の間に分離帯を設置します。

【問い合わせ】 軽井沢六本辻ラウンドアバウト社会実験協議会(企画課 都市デザイン室内)  
☎45-8185

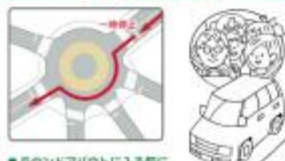
○土曜日 10:00~ FM軽井沢  
○月・火曜日 7:50~ (77.5MHz)

平成24年11月1日 第604号 かるいざむ 4

## リーフレット

### ..... 軽井沢六本辻ラウンドアバウトの通り方 .....

#### 自動車を通るとき



- ラウンドアバウトに入る前に、必ず停止線で一時停止をします。
- 車道を進んでいる車が優先して走ります。環道へ入る際には再度安全確認をしてください。
- 環道は時計回りの一方通行です。反対回りや駐車・停車、バックはしてはいけません。
- [方向指示器(ウィンカー)の出し方] 環道から出る際は直前で左ウィンカーを出し、環道から出ます。



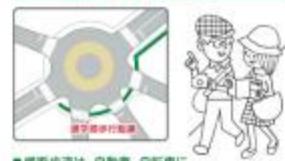
#### 自転車を通るとき



- 自転車に乗って通るときは、車と同じく一時停止の後、左折し時計回りに環道外側(左側)の<<<部分を通行してください。(歩道の時は歩道を歩きます。)
- 自転車を降りて通るときは、歩行者と同じになりますので、歩道、横断歩道を通行してください。



#### 歩いて通るとき



- 横断歩道は、自動車、自転車に注意して通ってください。
- 児童の通学路(歩道上)には、緑色の誘導線が引かれています。

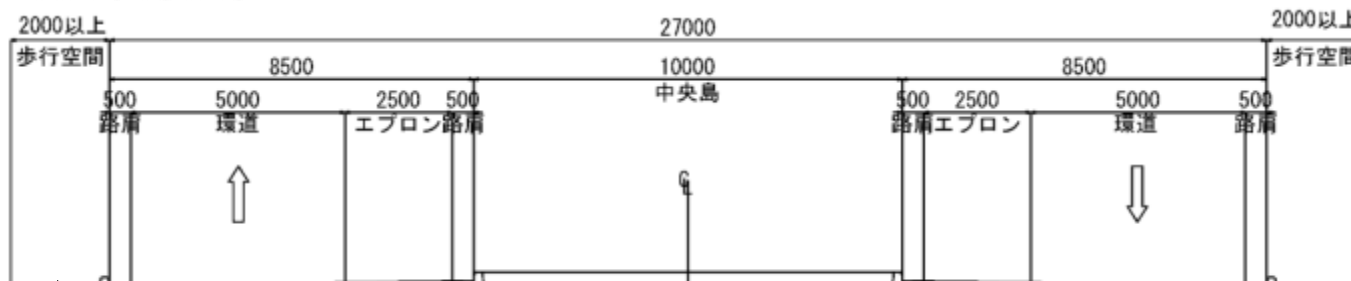


イラスト: 藤原 真由美、写真: 藤原 真由美、撮影: 藤原 真由美、撮影: 藤原 真由美

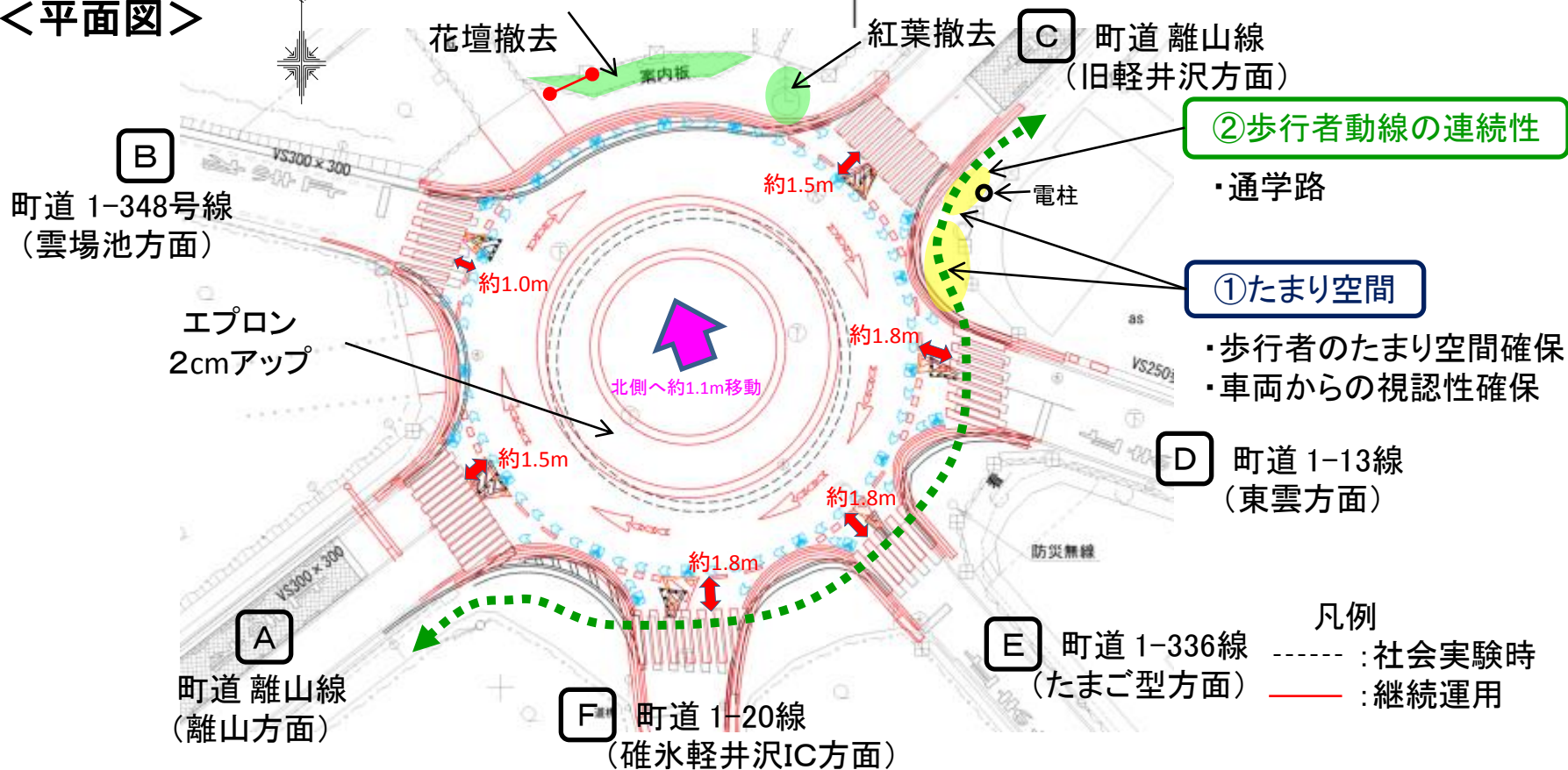
# 4 継続運用

継続運用 H26.5.23~

<断面図>



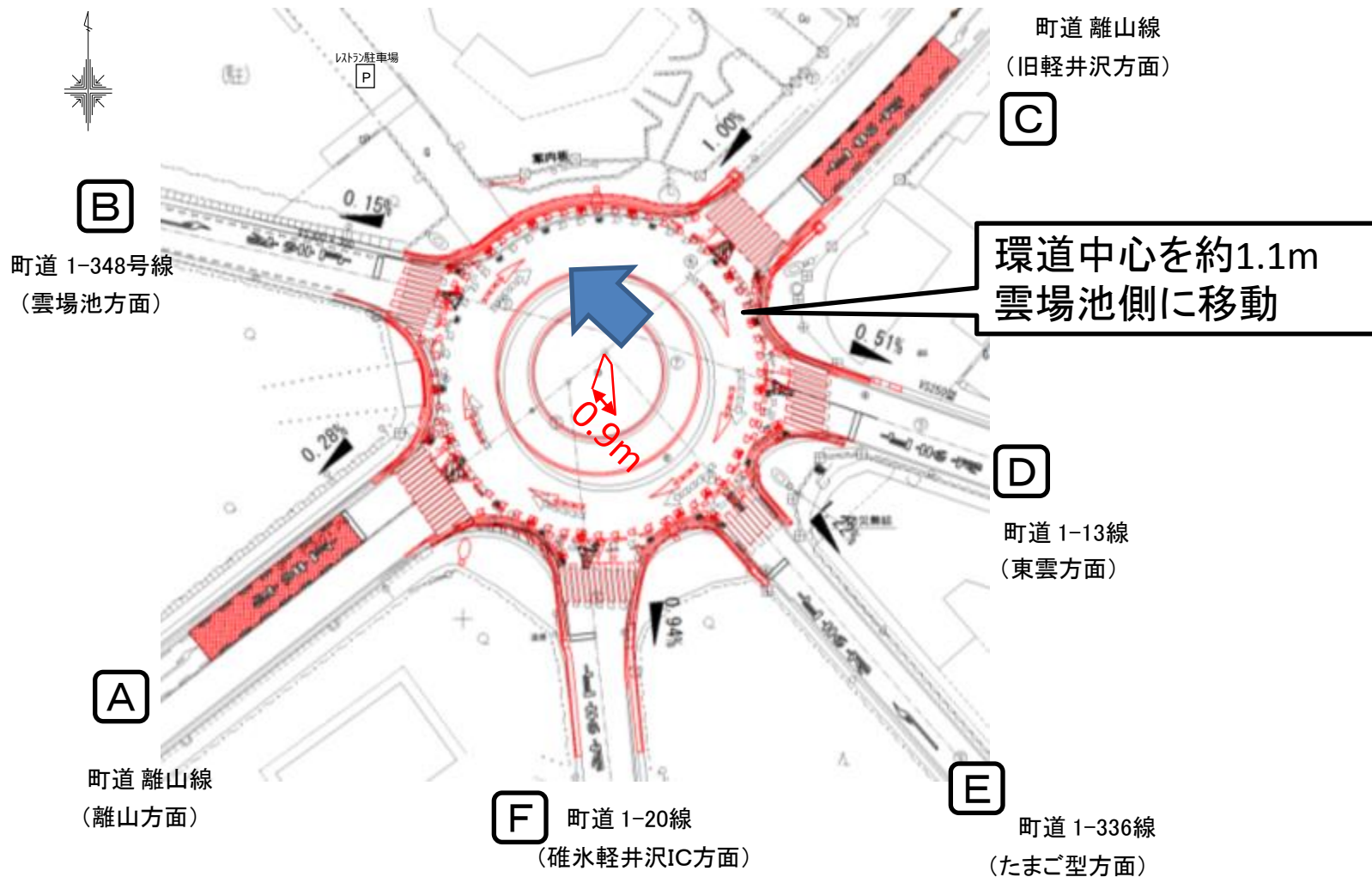
<平面図>



# (1) 社会実験から継続運用の主な変更点

課題①:環道内の大型バスの走行性が劣る（環道中心と道路中心が2 mのずれ）

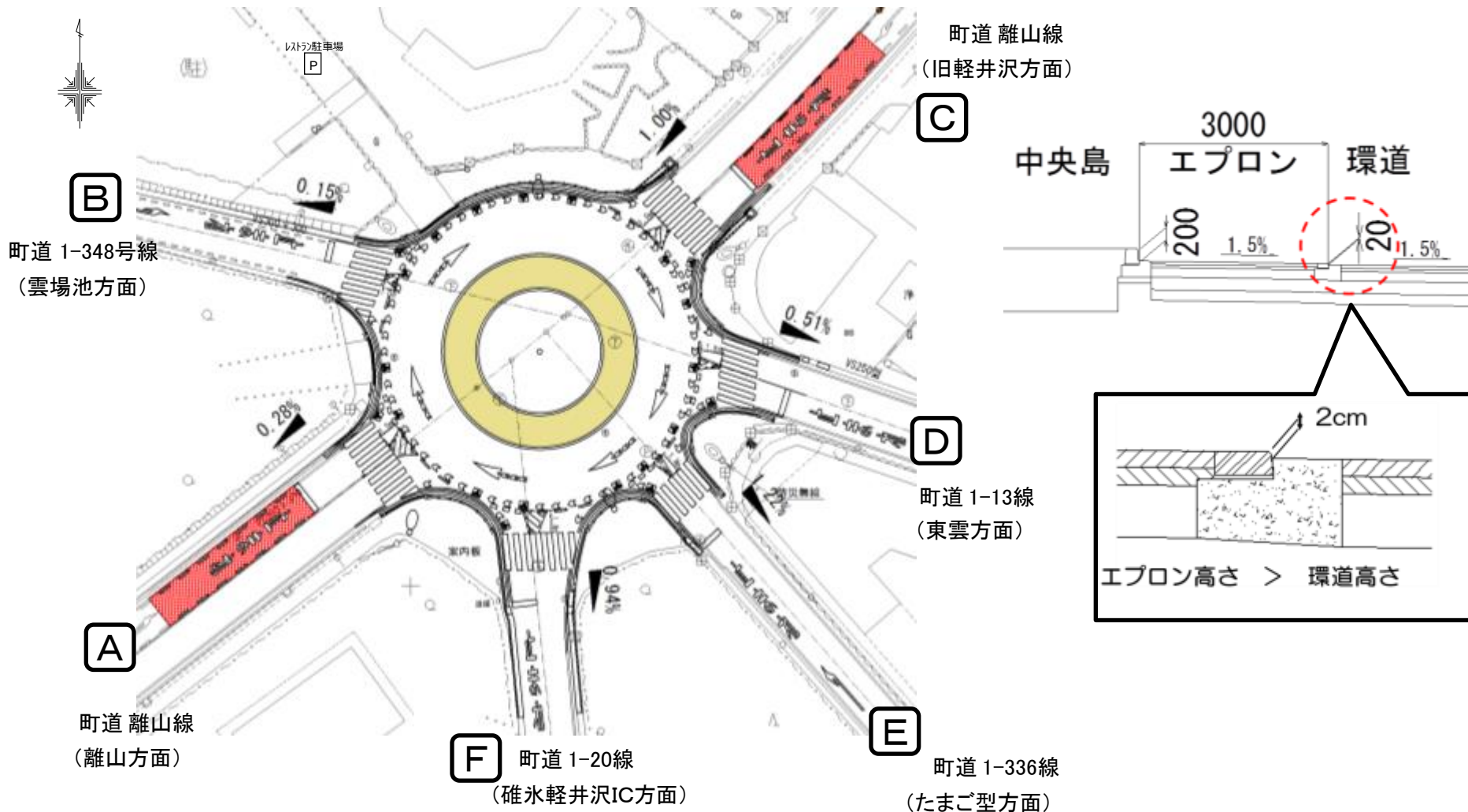
対応策①:紅葉を移設し、環道中心を約1.1m雲場池側に移動し、現況用地内でおさまる環道中心位置を設定（環道中心と道路線形のずれは約0.9m）



# (1) 社会実験から継続運用の主な変更点

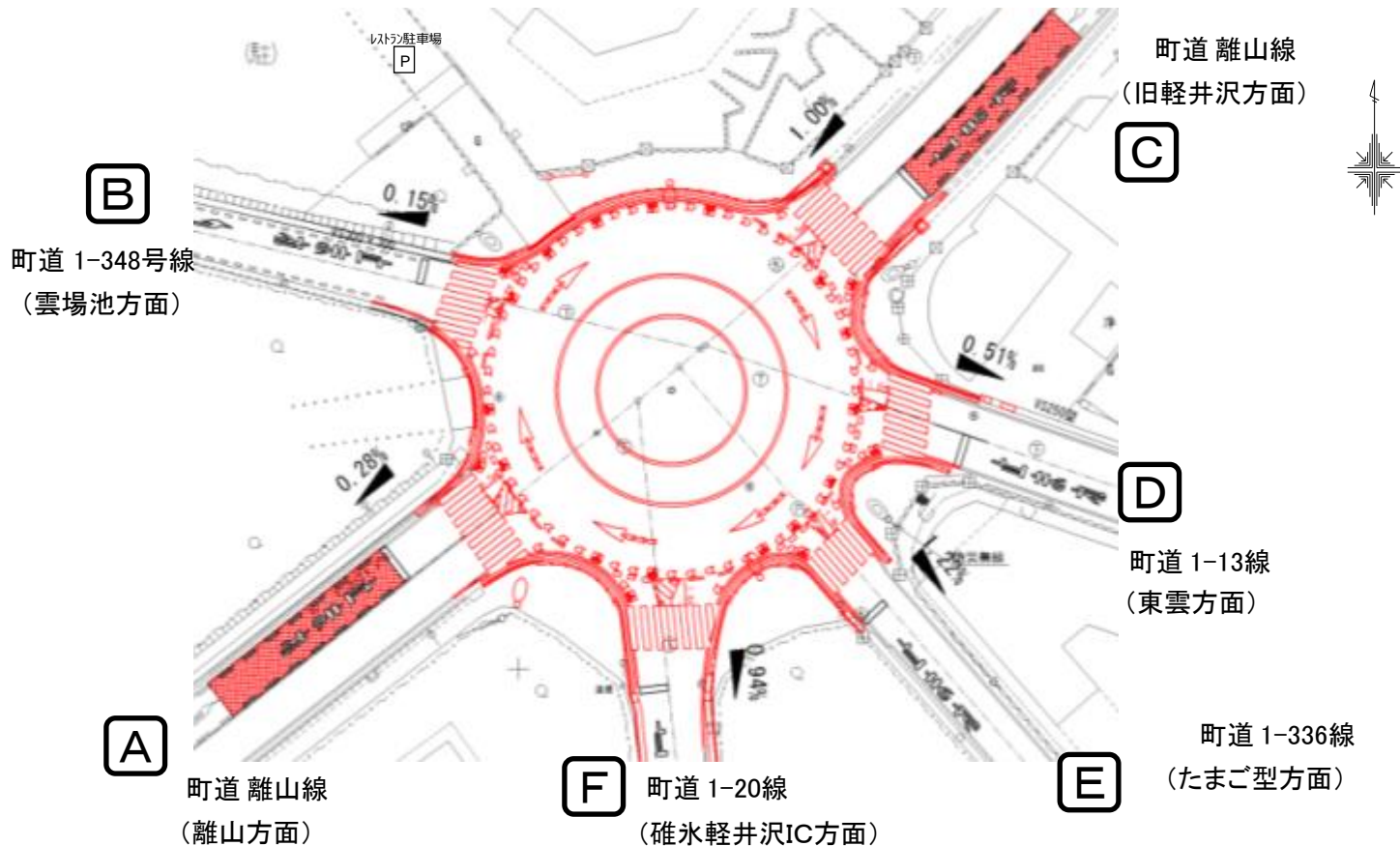
課題②: 小型自動車が環道を走行しない (小型自動車のエプロン走行)

対応策②: エプロン部の段差構造化 (2cm) とカラー舗装 (ベージュ色) を敷設 (飯田市東和町と同様)

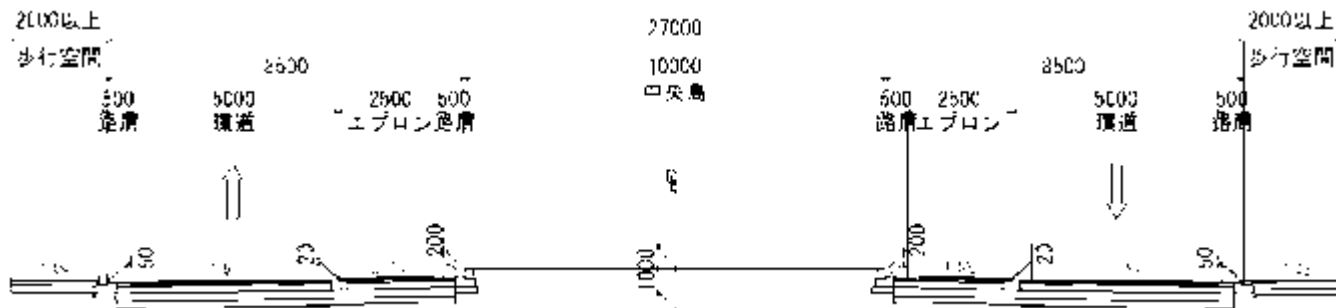


# (2) 継続運用の構造

## ● 計画平面図



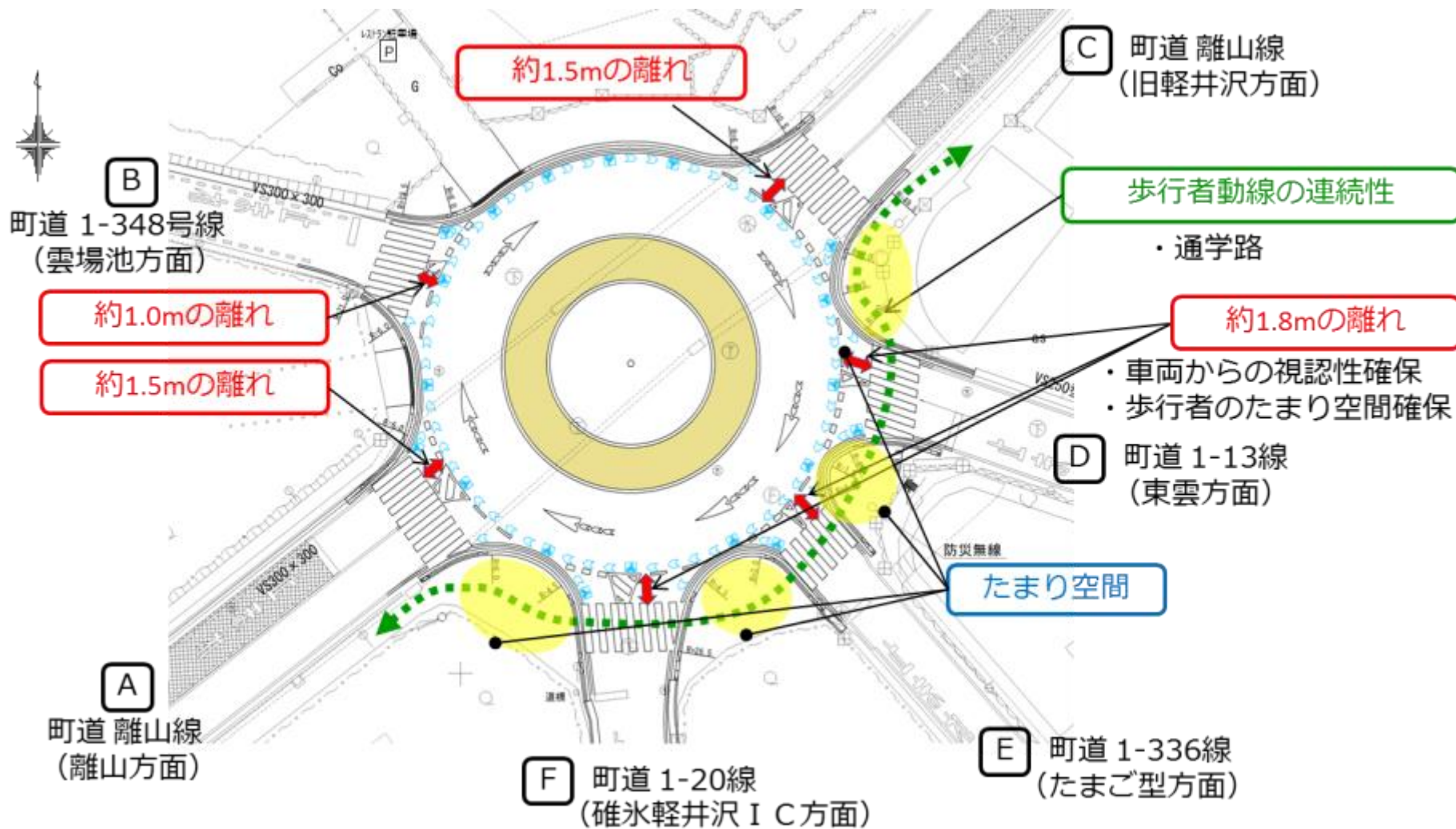
## ● 計画断面図



# 5 公委協議による事項

## (1) 横断歩道の設置位置

- ・歩行者のたまり空間と、歩行者動線の連続性を確保し、環道外径の区画線より約1.0m～1.8mの離隔を確保した位置に、横断歩道位置を計画

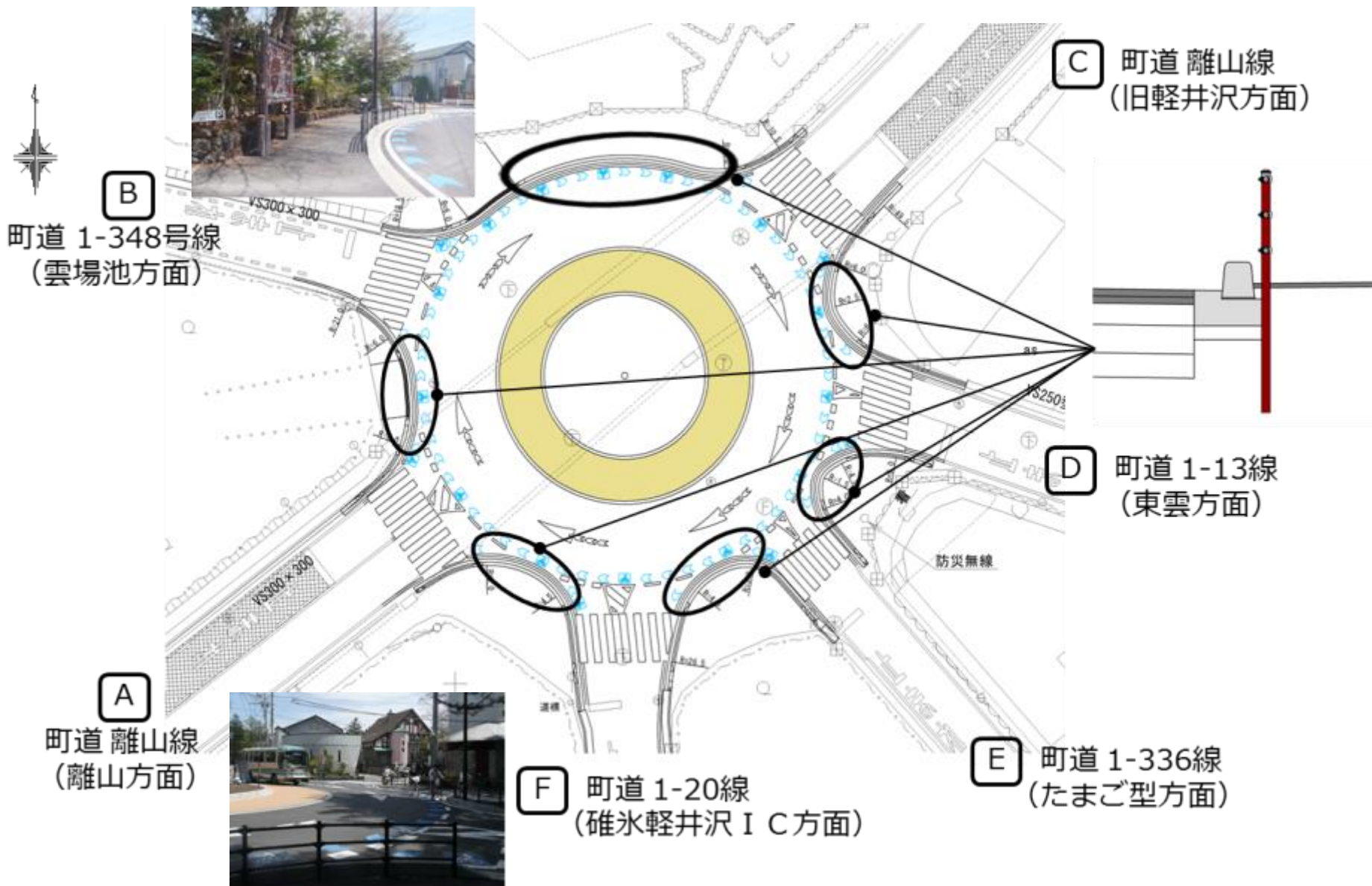




# 5 公委協議による事項

## (2) 横断防止柵の設置

・歩行者の乱横断防止対策として、横断防止柵を設置

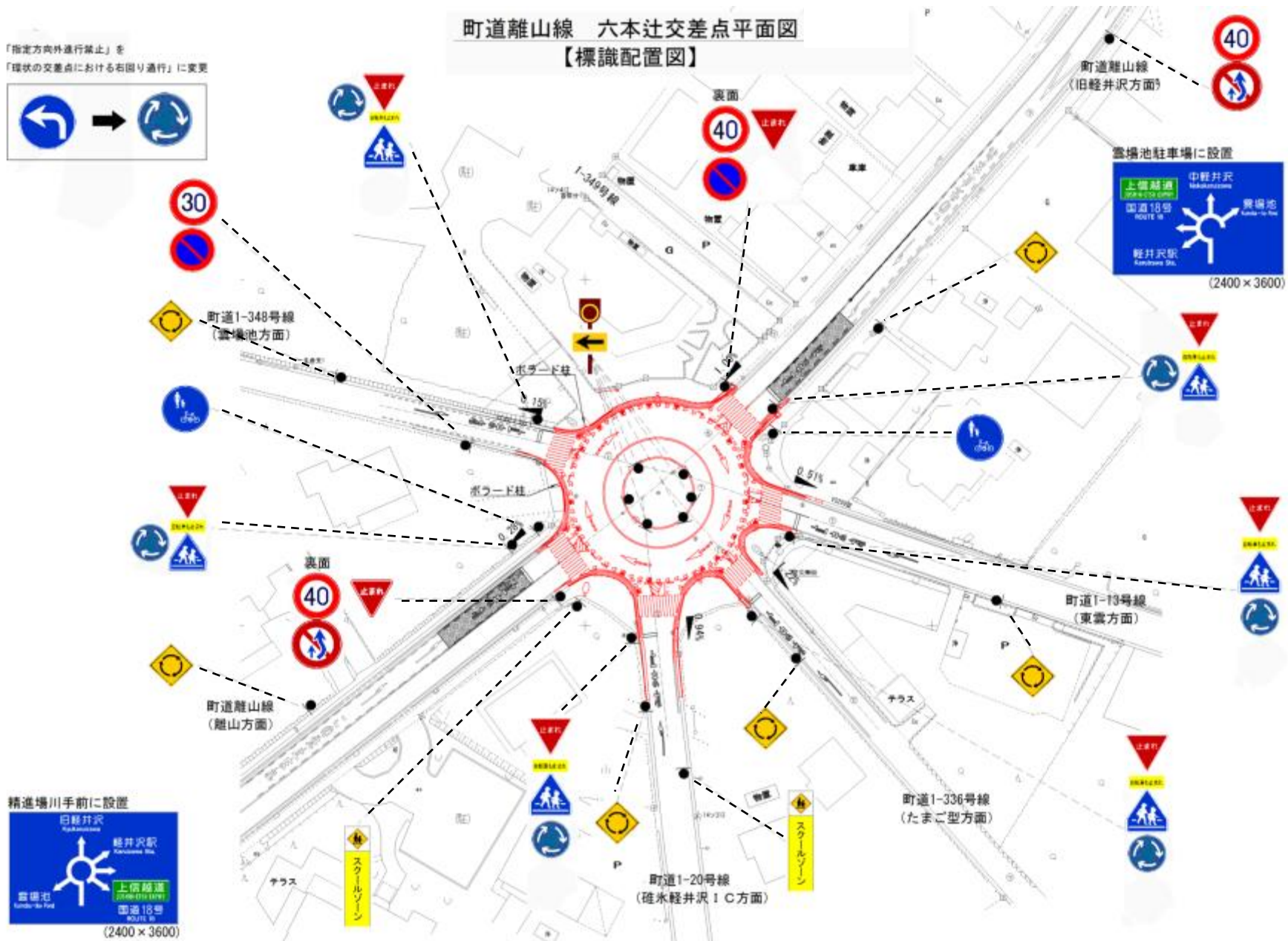


# 6 道路交通法改正後の標識類設置状況

「指定方向外進行禁止」を  
「環状の交差点における右回り通行」に変更



町道離山線 六本辻交差点平面図  
【標識配置図】



# 7 交通事故の状況

## (1) 社会実験前 1年間

No	事故発生日時	天候	形態	人身/物損
1	23/12/29木am2:10	晴れ	単独 路外工作物（滑走）	物損
2	24/7/6金pm3:40	雨	出会い頭 主道路走行×従道路走行	物損
3	24/8/17金pm4:10	曇り	出会い頭 主道路走行×従道路走行	物損
4	24/9/19水am8:30	雨	出会い頭 主道路走行×従道路走行	物損
5	24/10/21日pm3:00	晴れ	出会い頭 主道路走行×従道路走行	物損

## (2) 社会実験 ～ 継続運用

No	事故発生日時	天候	形態	人身/物損
1	24/12/ 8土pm8:15	曇り	追突 主道路停止中×後続車両(滑走)	物損
2	25/12/22日am8:55	晴れ	出会い頭 主道路走行(滑走)×環道走行	人身(軽傷)

## (3) 継続運用以降

発生なし（平成27年10月30日現在）

## 8 継続運用後の検証

- ・ 六差路という特殊な交差点で現状よりも安全性を高めるため、ラウンドアバウトが選択されました。
- ・ 交通事故の発生件数から、安全性の向上について効果があったことが読み取れる。

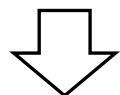
項目	効果・影響
車両交通の安全性向上	進入・通過速度が低下
	交錯箇所の減少
歩行者交通の安全性向上	1回あたりの横断距離・時間の減少
	物理的に区分された待ち場・歩道の設置
	隅切り・速度減少等による歩行者の視認性向上
	横断箇所の増加
視覚障害者への配慮	歩道の設置により、歩車道区分が明確になった分向上

項目	効果・影響
平均通過時間の削減	従道路から進入車両は削減
	主道路は一時停止により増加
	横断歩行者の合計所要時間は増加
地域環境への負担軽減	道路拡幅や用地取得、従道路の集約、通行制限規制を行わず整備を実施した
沿道へのアクセス向上	Uターンが可能となった
災害時の対応力向上	停電・災害時でも交通処理が可能

## 9 整備に係る事業費

### 平成24年度国土交通省社会実験

- ・ 国土交通省社会実験補助金 10,000,000円
- ・ 軽井沢町委託料 8,000,000円



軽井沢六本辻  
ラウンドアバウト社会実験協議会

支出総額 16,315,090円

### 平成25年度町単

- ・ 六本辻ラウンドアバウト本設工事設計委託 5,775,000円
- ・ 六本辻ラウンドアバウト本設工事委託 36,158,400円
- ・ 町道離山線六本辻交差点境界復元業務委託 97,650円

### 平成26年度町単

- ・ 六本辻ラウンドアバウト中央島芝張工事 378,000円